



移動スーパー



コミュニティナース



水源地の森



森林保全学習

水源地の村づくり

～都市にはない豊かな暮らしを築くために～



奈良県川上村の概要

◆位置・地形

- ・奈良県の南東部に位置
- ・面積 269.26km² (**97** %が山林)
- ・26の集落が点在
- ・吉野川 (紀の川) の最源流に位置

◆歴史

- ・吉野林業発祥の地
- ・南北朝時代、悲哀の歴史舞台に
- ・来年、「村制 **130** 年」を迎える

◆人口・世帯

- ・1,313人・680世帯
- ・高齢化率 **57.4** %

過疎、挑戦中!!



● 人口予測に対する危機意識の考え方

(地方創生に全力傾注のなか、自主自立を尊重しない「圏域」の考えは理解しがたい。)

今回の2040年人口予測は、**深刻に受け止めていない。**

ただし、真摯に受け止め、**「このような結果にならない努力をする」**覚悟。

それは川上村に**「価値」と「使命」**があるから。

【背景①】

- 半世紀を要した大滝ダム事業を契機に、平成6年「水源地のむらづくり」を決意。
 - ✓ 平成8年「川上宣言」を全国に発信。
「源流を守り、美しい水を下流に流し続ける」ことを村民とともに覚悟。
 - ✓ その証として、吉野川（紀の川）源流740ha（東京ドーム170個分）の原生林を村が取得。
 - ✓ そんな想いが通じたのか、平成26年「全国豊かな海づくり大会」にて天皇皇后両陛下が行幸啓されました。



【背景②】

- 森林の国土保全機能・水源の涵養機能が十分でない現状は、
「源流の危機は国土の危機」であることを強く意識
 - ✓ 源流を守る仲間や流域の人々との「つながり」を深めている
 - ✓ 「源流を守ることが」村の価値とし、村民の大きな「使命と役割」と認識している
 - ✓ 同時に、このことが村民が住み続ける「意義・誇り・自信」となっている
 - ✓ よって、村民の村づくりへの協働意識や、村を守る想いは特に強い

源流白書 ダイジェスト版
～源流の危機は国土の危機～

源流から

- 人が消える！
森林がなくなると川の床が
山が崩れる！
川に土が大量に流れ込み
- 水がなくなる！
水の循環が壊れ、水が
日本が潤う！
自然の力が消える
- 川が途切れる！
清流がなくなり、水質が
ふるさとの水がなくなる！
心もふるさとの水がなくなる

日本の

- 担い手が消える
高齢化が進むと
大災害時代を迎える
自然を守る人が
水源を守らずして
時代をつなぐ思想が消える
自然と共生の心が失われ
流域文化が途切れる
未来の子どものふるさとを
守ってほならない
そのために今すぐ

「源流」 それは
生命の根幹
日本の森林の価値は無限大
日本の未来の礎
それは、山や川を、つまりは国土を守ってきたのです。

私たち源流は、自然の創り出す気候を風土に合わせたリズムで、
自然から学んだ知恵を生かした暮らし方をしてきました。
それが山や川を、つまりは国土を守ってきたのです。

全国源流の郷協議会



環境白書(30年版)
「流域の連携」掲載！

● 定住人口確保に向けた具体的な取り組み

奈良モデル

● 経緯と目的

荒井知事が提唱したもの。県と市町村が一体となって課題ごとに定期的にサミットなどを開催。市町村にとって大きな励みであり、貴重な情報交換の場となっている。

荒井知事の**地域（市町村）の個性を尊重しながら、いわゆる“連携”という仲間づくりを目指している行政手法に絶賛**している。政には**理念に“心”がある**こと。

● 奈良モデルとは・・・

「市町村合併に代わる奈良県という地域にふさわしい行政のしくみ」である。

人口減少・少子高齢社会を見据えて「**地域の活力の維持・向上や持続可能で効率的な行財政運営をめざして、市町村への支援と協働（垂直補完）、市町村間の連携による効率化（水平連携）の仕組み**」で展開している。

● 主な支援策

- ✓ 財政支援（補助金、貸付金等）と、人的支援（職員派遣、技術吏員等の共同採用）
- ✓ 県有資産の有効活用による支援（県域ファシリティマネジメント）
- ✓ その他の支援（市町村への課題解決策の提案や検討の場づくり等）

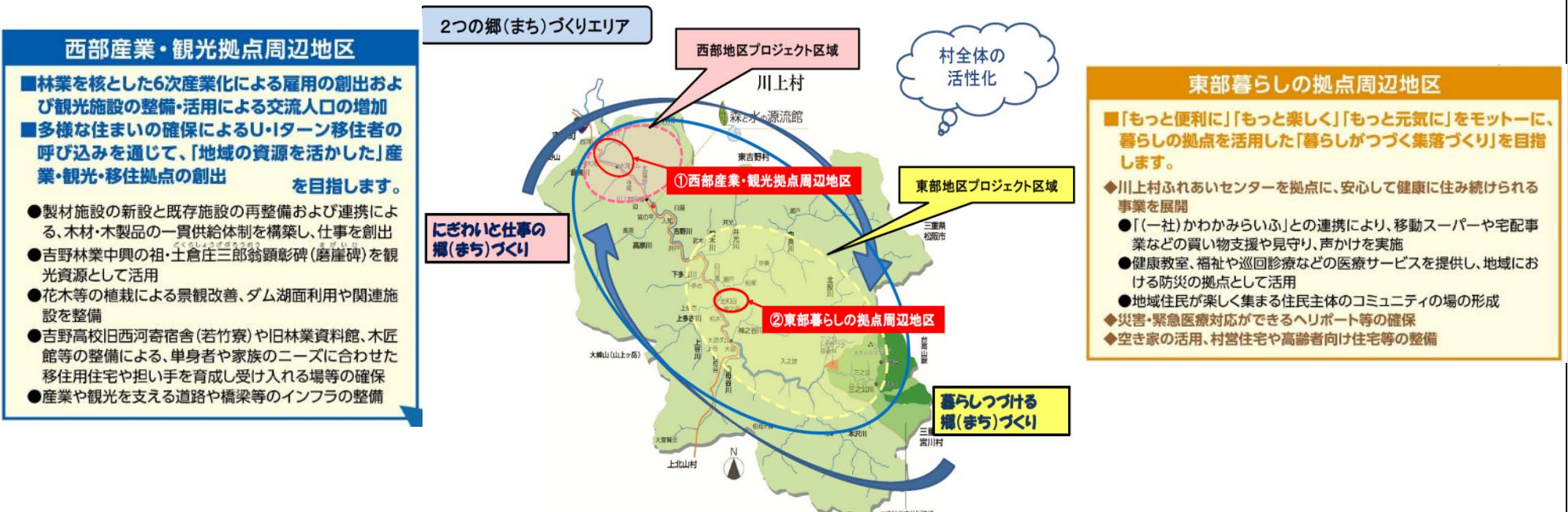
主な「奈良モデル」の県・市町村の取り組み

- ・大規模災害や増加する救急搬送の増加に対応 → 奈良県広域消防組合の設立
- ・南和地域における広域医療提供体制の再構築 → 南奈良総合医療センターの整備
- ・道路インフラの長寿命化に向けた支援 → 協議会にて橋梁点検とトンネル修繕計画業務
- ・地域性を活かした賑わいのあるまちづくりの推進 → 各地域の中心となる拠点の再整備
- ・ごみ処理の実態を踏まえた対応 → 広域環境衛生組合の設立

主な「奈良モデル」の川上村の取り組み

■奈良県と川上村のまちづくりに関する連携協定：平成29年2月 包括協定書締結

- 村内に2つのネットワーク圏を形成した新しい郷（まち）づくり
 - 西部地区プロジェクト区域 → にぎわいと仕事の郷（まち）づくり
 - 東部 // プロジェクト区域 → 暮らしつづける郷（まち）づくり



村の考え方

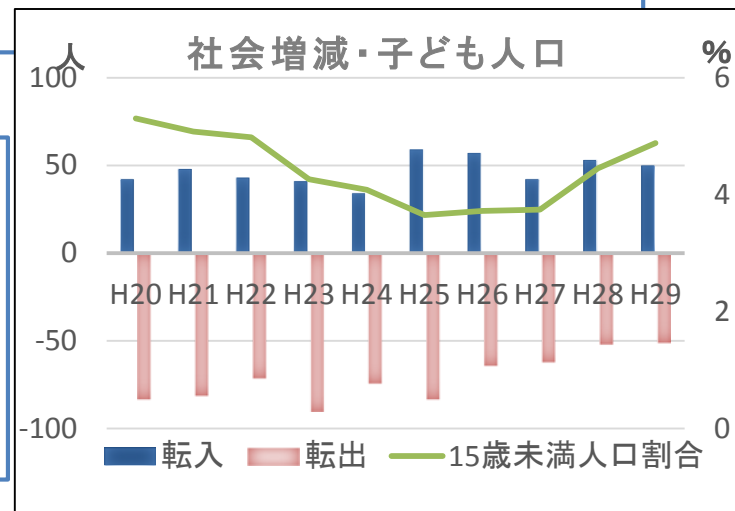
- 若者移住（定住）を目指すためにも、まず今を生きる村民の満足度（幸福度）を高めることとしている。

1. 住み心地（居心地）を整えること。

2. 新しい出会い、つながりを求めること。

1. 住み心地（居心地）を整えること

- | | | |
|----------------------|-----|---------------|
| ①「一般社団法人 かわかみらいふ」 | ・・・ | 生活支援、雇用の場の創出 |
| ②「一般社団法人吉野かわかみ社中」 | ・・・ | 6次産業化、雇用の場の創出 |
| ③「一大字一名所づくり」 | ・・・ | 集落活動、協働の活性化 |
| ④「らくらく元気塾・コミュニティナース」 | ・・・ | 健康で元気な暮らし |
| ⑤「コミュニティバス事業」 | ・・・ | 利便性の確保、交流の場 |
| ⑥「おてったいさん制度」 | ・・・ | 協働の意識の醸成 |



2. 新しい出会い、つながりを求めること

- | | | |
|-----------------------|-----|-----------------|
| ⑦「川上ing作戦・川上村婚活イベント」 | ・・・ | 若者の定住移住、キッカケづくり |
| ⑧「地域おこし協力隊」 | ・・・ | 地域の魅力の掘り起こし |
| ⑨「空き家バンク」 | ・・・ | 空き家の利活用+住環境の整備 |
| ⑩「未来への風景づくり事業」 | ・・・ | 民間企業との協業 |
| ⑪「源流ツーリズム」 | ・・・ | 地域資源の活用、雇用の場の創出 |
| ⑫「ちびっこ増やし隊、保小中の校舎一元化」 | ・・・ | 子育て世代の交流、教育の充実 |
| ⑬「大学との連携」 | ・・・ | 地域社会の発展、人財育成 |

(一)社会減少人口数が
10年前と比較して減少

(二)15歳未満人口割合が
ここ数年で少しずつ増加



取り組みの成果！

① 一般社団法人かわかみらいふ（生活支援と雇用の場の創出、小さな拠点の形成）

事業内容

- 産官金労福+村民の「一般社団法人かわかみらいふ」を設立
地元の民間企業と連携し、「移動スーパー事業」と「宅配事業」を行い、買い物利便を確保するとともに、声かけ等を実施し生活不安を解消。
村唯一のガソリンスタンドも継業。新たな雇用の場の創出と地域内経済循環に取り組む。
- 東部地区の公共施設を「小さな拠点」としてリニューアル
「コミュニティカフェ」・「巡回診療」・「サークル活動」・
「看護師による見守り(コミュニティバス事業)」・「防災拠点整備」を実施。



- ・内閣府地方創生加速化交付金
- ・総務省過疎地域等自立活性化交付金
- ・経産省石油流通網再構築実証事業

など、財政支援も積極的に活用！



② 一般社団法人吉野かわかみ社中（吉野林業の6次産業化・雇用の場の創出）

事業内容

- 林業関係4団体＋行政による「吉野かわかみ社中」を設立し、吉野林業再生に着手。
- 「持続可能な川上産吉野材の一貫供給体制と情報拠点の構築」を進める。
いわゆる6次産業化を目指す。
- 施業プランナーや木造住宅セールスパーソン等、事業実行と結果を出せる人材を雇用。
- 産地だが、木材生産（川上）、製材・加工・流通（川中）、マーケット（川下）に至る
すべての取り組みを展開。
 - ✓ 山づくり：森林調査や再造林の実施、新規就業者の育成支援
 - ✓ 製造・加工：村内6次産業化体制の構築、木造にこだわる工務店や設計家、木工作家との連携
 - ✓ 販売促進：見学ツアーの開催、販路の開拓、新たな用途の開拓



③ 一大字一名所づくり事業（集落活動、協働の活性化）

事業内容

■ 住民の自主性と創意工夫を活かしつつ、活力に溢れた個性ある地域づくり事業。
地域に誇りを持ち、魅力の発信を行う **26大字の自主活動をサポート**

- 一大字一名所の効果
- ✓ 住民間のコミュニティづくり。
 - ✓ 自らの地域に誇りと活力を。
 - ✓ 行政との協働による地域づくり。



**私は「この地域の住民である」
という意識・行動が大切**



小水力を活用した水車



住民によるハザードマップ作成

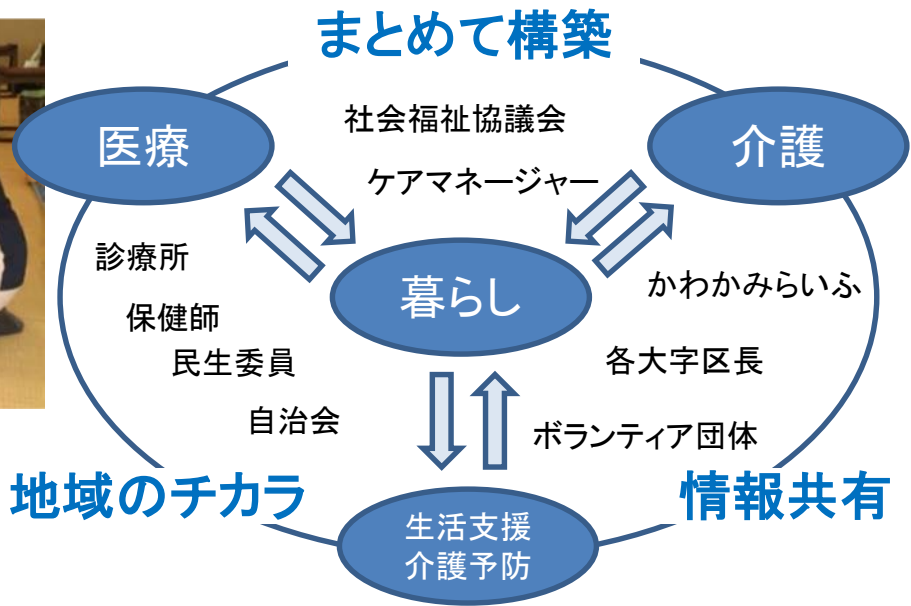


地域の名水PR

④ らくらく元気塾・コミュニティナース（健康で元気な暮らし）

事業内容

- 「村づくり」は、まず「健康づくり」から。
健康は食事や運動の他、コミュニケーション、人との出会い、ふれあいが大切。
- らくらく元気塾
平成21年度から健康運動指導士・管理栄養士等が各地区の公民館に出向いて、介護予防のための健康づくりを実施。事業終了後もOB教室として自主的に継続中。
- **コミュニティナース**
看護師を東部地区に配置。かわかみらいふの「移動スーパー」に帯同。
日々の暮らしの身近なところで、声かけや見守りを実施。



⑤ コミュニティバス（利便性の確保、交流の場）

事業内容

- 奈良交通バスの路線廃止（平成27年9月末）に伴い **3つのバス路線+デマンド送迎** を運営。
 - ◆ **やまぶきバス**（川上村コミュニティバス）
 - ・ 路線バスの廃止に伴い、時刻改正や運行区間を延長。
 - ・ 平日の朝便を早めたことで通学できる学校が増加。
 - ・ 県南部の総合病院への乗り入れ。
 - ◆ **スマイルバス**（吉野町コミュニティバス）
 - ・ 隣町のコミュバスが川上村へ乗り入れ。相互連携で利用者増。
 - ◆ **ゆうゆうバス**（**2町3村での広域連携コミュニティバス**）
 - ・ 下北山村～大淀バスセンター間を運行。広域連携で利用者増。
 - ◆ **ニコニコ号**（支線～国道間の送迎）
 - ・ バスが乗り入れていない支線（谷筋集落）から「各バス」に接続。予約制で無料。
- **やまぶきタクシー**
 - ・ 村民が村内で村内タクシーを利用した場合、半額を補助。



やまぶきバス



スマイルバス



ゆうゆうバス



ニコニコ号

⑥ おてったいさん制度（協働の意識の醸成・役場職員による集落支援員）

事業内容

- **行政と住民のパイプ役**として、全26大字（集落）それぞれに**2名ずつ**、**地域に出向く役場職員**として「おてったいさん」を配置。
 - ・ 役場への申請や届け出を、「おてったいさん」に。
 - ・ 伝統行事や清掃作業のお手伝いを、「おてったいさん」と。
- 「おてったいさん」の効用・効果
 - ✓ **職員の仕事場は村内一円**（すべてがフィールド）
 - ✓ 「**地域に出向く**」「**住民に寄り添う**」行政
 - ✓ 地域と人の魅力の掘り起こし
 - ✓ 連携を密にした結果の住民に与える大きな安心感

「おてったい」とは、
方言でお手伝いのコト

「おてったいさん」とは、
お手伝いをする人



⑦ 川上ing作戦・婚活イベント（若者の定住移住、キッカケづくり）

事業内容

- 平成25年度「住環境整備事業」として暮らし支援施策を若手職員で取り組みをはじめた。
- 平成26年度には『川上ing作戦』と名を改めるとともに、「定住」「移住」を重点施策に。
- 「職」の相談から「住」の紹介まで、暮らしをバックアップ。（移住ツアー・村コンも開催）
- 平成26年度から平成30年3月末まで、14世帯39人の移住実績！うち子ども12人
- 村での暮らしの支援に取り組んだ結果、若者世代が定着し、
28年度は空前の「ベビーラッシュ！」 1,313人の村に9人の赤ちゃんが誕生！

役場の若手職員を
中心に



課題の把握

知見を広げる
多面的に考える

動き、結果を出す



⑧ 地域おこし協力隊（地域の魅力の掘り起こし）

事業内容

- 村内に移住してさまざまな魅力を掘り起し、
地域資源を魅力的に利活用する意欲のある若者を募集。
- これまでの採用は18名。現在、現役隊員は7名。
- 歴代隊員の前住所地は、
東京都、神奈川県、埼玉県、新潟県、岐阜県、愛知県、大阪府、兵庫県、山口県、アメリカ。
- 村を知り、人と関係を築き、それぞれの起業に向けて展開。
やまいき市（朝市） 暮らす宿HANARE（農家民宿） 恋する丸太プロジェクト 山の文化発信プロジェクト
山遊び塾ヨイヨイかわかみ studio Jig Oide 養魚場 エコツーリズム推進 など

彼らの“行動力”は、村民や役場職員に“大きな刺激”



⑨ 空き家バンク（空き家の利活用＋住環境の整備）

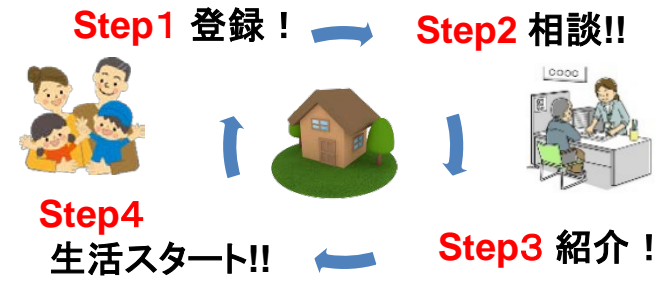
事業内容

- 田舎暮らしを希望する都市部の方に賃貸可能な空き家を紹介する事業。
- 村内への移住を促進し人口減少に歯止めをかけるとともに、集落の活性化を図る。
- 平成18年度より各集落の空家を随時登録してもらい、移住希望者に紹介している。



空き家の利活用
＋
住環境の整備

空き家バンク事業



地方創生
総合戦略スタート



◎登録状況

| | 平成18年 | 19年 | 20年 | 21年 | 22年 | 23年 | 24年 | 25年 | 26年 | 27年 | 28年 | 合計 |
|----------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 空き家契約件数 | 0 | 3 | 2 | 4 | 3 | 7 | 3 | 6 | 3 | 5 | 5 | 41 |
| 移住希望登録者数 | 8 | 11 | 16 | 11 | 15 | 10 | 10 | 9 | 9 | 15 | 17 | 131 |
| 空き家登録件数 | 12 | 4 | 6 | 3 | 1 | 5 | 7 | 5 | 3 | 4 | 17 | 67 |

⑩ 未来への風景づくり事業（民間企業との協業）

事業内容

- 大滝ダム事業に伴い集落の集団移転があった地において、かつてこの地にあった人の暮らしのぬくもりを、**植栽による景観づくりをとおして再生**するプロジェクト。
 - 企業・団体が区画ごとに植樹と管理。
 - ここを拠点に、職員研修や社会貢献活動を実施。
 - **村と企業、企業と企業の交流、享受し合える関係性**も展開。

将来のイメージ図



◆協賛企業・団体（H29.11現在）

大和ハウス工業(株)、近畿日本鉄道(株)、佐藤薬品工業(株)、奈良交通(株)、鹿島建設(株)、市民生活協同組合ならコープ、奈良中央信用金庫、奈良ダイハツ(株)、(株)イムラ封筒、奈良県農業協同組合、奈良トヨタグループ、ダイドードリンコ(株)、損保ジャパン日本興亜、(株)タカトリ、不二熱学グループ、森林環境保全促進和歌山市議会議員連盟

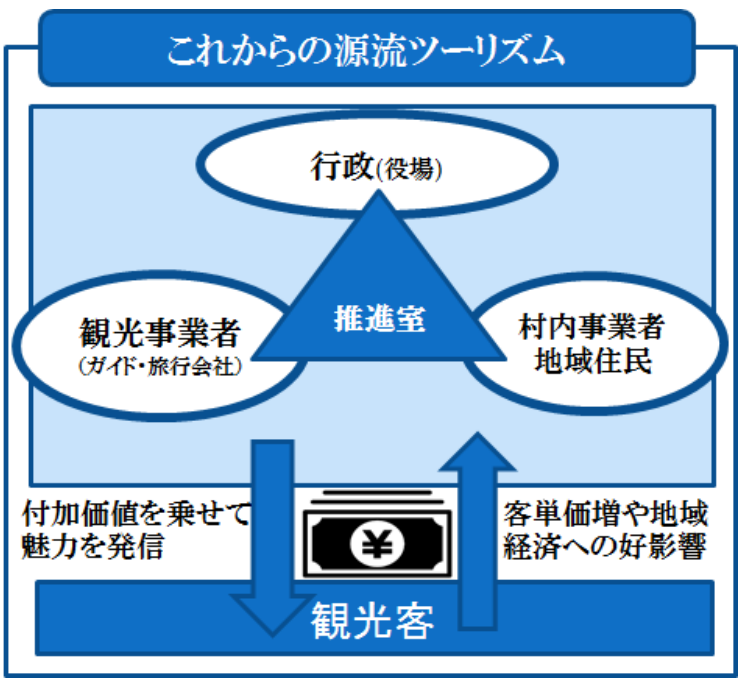
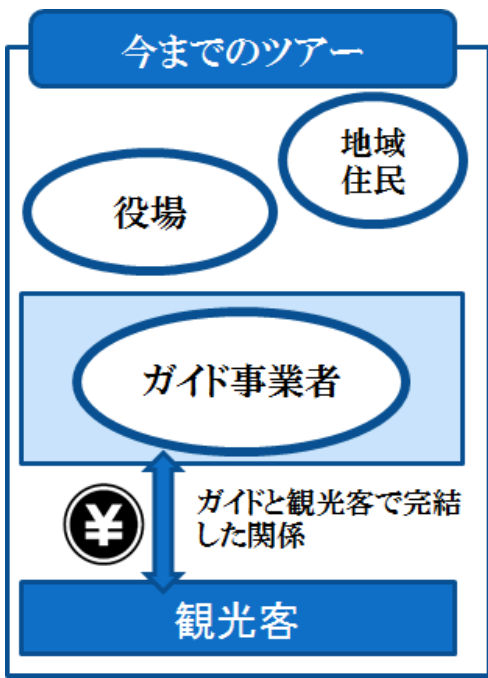


11 源流ツーリズム (地域資源の活用、雇用の場の創出)



事業内容

- 川上村の豊かな自然、歴史、文化を「保全、継承」しながら、魅力的な地域資源とのふれあいや学びの機会を提供。
- 今年度から水源地課に「源流ツーリズム推進室」を設置。
- エコツーリズム (自然) + インフラツーリズム (社会資本)。村民の皆さまに、もっと身近に。
- これからの源流ツーリズム → 心と経済的にもうるおい。新たな雇用の場の創出。



⑫ ちびっこ増やし隊、保小中の校舎一元化（子育て世代の交流、教育の充実）

事業内容

「ふるさとに学び、力強く自らの未来を切り拓く子どもの育成」
「川上村の子育て世代が楽しく交流できる時間を増やしたい！」

- 川上村義務教育プランを基に12年間を見通した教育を。
- 時代に通用する学力や豊かな人間性、ふるさとを愛する心を育む教育を推進。
- 川上村に住む子育て世代が、川上村の暮らしを楽しむ！



“15の春は正夢に”

・12年間の責任ある見守り
・園長や指導主事の配置

保小中
教職員の
連携を強化

更なる連携の強化

・住民交流の場
・地域力や地域の知恵を
得る場



学校・家庭・
地域の連携
を強化

13 大学との連携（地域社会の発展、人材育成）

事業内容

■ 相互の資源を持ち合い、地域の課題に迅速かつ適切に対応し、活力ある地域社会の形成と発展に寄与する。

- ・ 2010年 大阪工業大学と連携協定締結
- ・ 2017年 奈良女子大学と連携協定締結



■ 木匠塾

1988年始動。建築を学ぶ学生が、木一山一木造について広い視野に立ち実地に学ぶ機会。良質な吉野杉の特性を知り、多用途への利活用を検討。近畿圏内5大学が参加。

～源流分校（旧東小学校）リノベーション～

- コンセプト
「小学校らしさ」を残すと共に、新たな活用性を見い出しながら、ここでしかできないことが体験できる場に。
- 実施学科 建築学科、空間デザイン学科
- 実施期間 平成22年度～25年度の4年間

大学生のセミナーハウスに利用

The collage includes: 1. Exterior view of the building with cherry blossoms. 2. Night view of the building's entrance with a wooden sign. 3. Interior view of a large, open-plan space with wooden floors and walls. 4. Close-up of wooden floorboards. 5. Interior view of a room with a wooden desk and chairs. 6. Interior view of a room with a wooden table and chairs.



最後に . . .

人々の“心”が山や森林から離れ、源流への想いが薄れつつある...

“源流の危機”は“国土の危機”

源流を守る「**水源地の村づくり**」

それはそこに **住む** ということ。

この小さな村にある、大きな**“使命”**と**“役割”**を
これからも果たしていきます。

ご清聴、ありがとうございました。